

## 製品名: カベオリン 1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe01498

研究使用のみ

### 概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.51mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

### 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 20 kDa; Observed MW: 20 kDa

### 抗原情報

遺伝子名	CAV1
別名	CAV1; CAV; Caveolin-1
遺伝子 ID	857
SwissProt ID	Q03135
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

### 背景

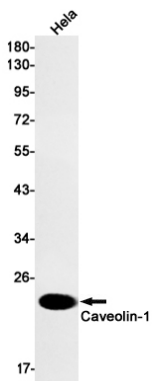
カベオリン-1は、カベオラ膜内で足場タンパク質として機能する可能性がある。Gタンパク質αサブユニットと直接相互作用し、そ

これらの活性を機能的に制御することができる（相同性に基づく）。T細胞受容体（TCR）を介したT細胞活性化に不可欠な共刺激シグナルに関与する。DPP4への結合は、T細胞受容体/CD3依存的にT細胞増殖およびNF- $\kappa$ B活性化を誘導する。CTNNB1をカベオラ膜にリクルートし、Wnt経路を介してCTNNB1を介したシグナル伝達を制御する可能性がある。

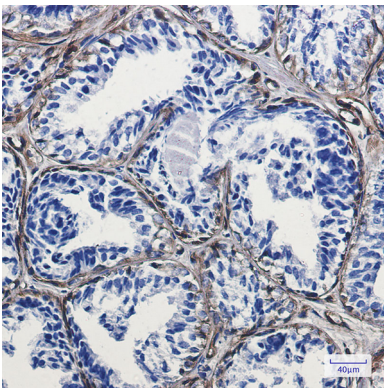
## 研究分野

心血管系

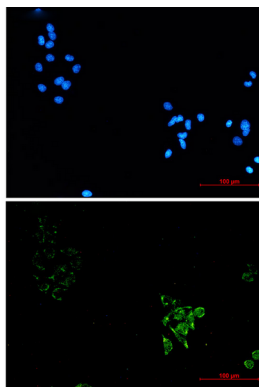
## 画像データ



Caveolin 1 抗体を使用した HeLa 溶解物中の Caveolin1 のウェスタン プロット分析。



Caveolin1 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



Hela における Caveolin1（緑）の Caveolin1 抗体と DAPI（青）を用いた免疫細胞化学分析